



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 トヨタの会議は30分

山本大平 著 すばる舎

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2021年10月1日 Vol. 228

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡邊敏徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

4,000分の1

昨年の1月頃から世界中を震撼させてきたコロナウイルスですが、大きな経済的、肉体的、そして心理的な混乱をもたらしてきました。

政治的にも首相が交代して新たな政策の下スタートしました。今月後半には衆議院議員選挙が行われます。私たちはこの選挙で何を基準にして投票すればいいのでしょうか？

日本はバブル経済崩壊後の1990年代初頭から「失われた20年」を経て、高度経済成長期（好景気時の経済成長率が約10%以上）や安定成長期（好景気時の経済成長率が約5%以上）の頃のような経済成長率・景気拡大（完全なデフレ脱却）が起こらない場合、「失われた30年」になってしまう可能性があると言われています。2016年の時点で既にそうなってしまったと言っている人もいます。

また、日本経済団体連合会のシンクタンク「21世紀政策研究所」は、2012年4月に「失われた20年」の状況がこのまま続いた場合、日本は2050年代頃に、先進国でなくなる」と予測結果をまとめています。少子高齢化と言われて久しいですが、子どもの教育や住宅ローンにお金がかかり、老後資金が2,000万円も必要だと言われ不安が増すばかりです。

キーワードは「成長」と「分配」で成長の果実をできるだけ分配し、一部の所得を上げるのではなく、国民全体の所得を広く押し上げていく「令和版所得倍増計画」と岸田総理大臣は言っていますが具体的には何も見えていません。

富裕層は、純金融資産（現金など）1億円以上を保有という明確な定義があります。1億円以上資産を持つ資産家は全体の約2.5%しかいません。ここに課税しても得られる税収はたかが知れています。再分配の原資を中間層に求めるしか方法がなく、実施すれば中間層

からの猛反発が予想されます。日本において格差是正が叫ばれながら一向に実施されなかったのはこれが理由です。

そもそも今の銀行の定期預金の金利は概ね0.002%です。バブル期の8%と比較すると、「4,000分の1」の金利しかありません。「令和版所得倍増計画」は夢のまた夢。未来を安心して暮らせる社会はかなり難しそうですね。



人の価値

人生でもっとも輝かしい時は、

いわゆる栄光の時なのでなく、

落胆や絶望の中で人生への挑戦と未来に成し遂げる

展望がわき上がるのを感じたときなのだ。

(出典：フローベール)



私たちの人生の中で、多くの失敗や挫折があります。むしろ成功より失敗や挫折の方が多いかもかもしれません。人の価値はどんなところでわかるのだろうか？

その人の本当の価値は、光り輝いている成功の時ではなく挫折を味わっているその時こそ問われるのだと思う。苦しい逆境の時にどんな生き方をしていくかで、その人の価値が見えてくると感じます。どんな環境にあっても前を向いて一步一步愚直に行きたいものです。



【座右の銘にしたい名言】



他人の失敗から学びなさい。あなたは全ての失敗ができるほど

長くは生きられないのだから。

(エレノア・ルーズベルト/米国のファーストレディ、人権活動家)